

平成 27 年 12 月 7 日 (月)



今日は鹿児島市鴨池新町にある、
鹿児島県警察本部交通部交通企画課で
「MBC ラジオポニー号」が「モーニングス
マイル」の中継を行いました。

ポニーメイツの上園さんが、交通部
交通企画課理事官の西政樹さんにお話を
伺いました。

～ 中 継 内 容 ～

鹿児島県警察本部交通部交通企画課は交通事故のない社会を造るために交通事故防止対策の構築、交通安全の広報・啓発活動を行っています。

具体的には、交通事故の発生状況等の分析、事故状況の資料の提供、また分析に基づいた安全対策の考案、保育園・幼稚園・小学校あるいは高齢者を対象とした交通安全教育や交通安全の啓発活動を行っています。

年末年始の交通事故防止運動は 12 月 10 日木曜日から明けて 28 年の 1 月 10 日まで、年末年始、マナーアップで事故防止をスローガンに運動の重点としては高齢者の交通事故防止を重点に開催されることになっています。

鹿児島県内の昨日現在の交通事故の発生状況は

発生件数が 7, 395 件

怪我をされた方が 8, 793 人

死者数は 72 人 となっています。

県民の方々の安全意識が高まってきているため、発生件数、負傷者数、死者数全てにおいて昨年同期に比べて、大幅に減少している状況です。

ただ、減少していると言っても、年末、交通事故が増える時期に来ておりますので、油断しないで安全運転に努めていただきたいと思います。

今回、年末年始の運動では、高齢者の交通事故防止が運動の最重点となっていますが、65 歳以上の高齢者の方が交通事故の被害に遭うケースが非常に多く、本県の交通死亡事故の特徴とも言えます。

特に鹿児島県は、平成 15 年以降、13 年連続で全交通死亡事故の過半数以上を高齢者が占めておりました、11 月現在高齢者の方が 47 人という事で、全死者の

6割以上を占めている状況です。

また、最近、日が暮れるのが早くなってきましたので、日没から夜間にかけての事故が多く発生しております。

夜間の交通事故被害者15人のほぼ全員が夜光反射材を着けていない状況でした。

夜間のみならず、最近、早朝に被害に遭われた歩行者の方もおりましたので、暗い時間帯は夜光反射材を着けていただくようによろしくお願いしたいと思います。

交通事故の原因としては、まず、高齢者事故に関して、年齢を重ねると判断力が低下したり、以前は大丈夫だったからという過去の経験にとらわれてしまう傾向があります。

また、注意力や集中力が若者に比べると低下しています。道路に出たとき、道路を歩くとき、車を運転するときは普段以上に周囲の動きに充分注意して、なにより交通ルールをしっかり守っていただきたいです

運転する際に、ドライバーの方々には、ちょっとした不注意が死亡事故や重傷事故という大きな結果を招くということを肝に銘じていただきたいと思いません。

そして、速度を落とす、ライトを点けるの2つで交通事故の危険性はぐっと低くなりますので、その点は充分気をつけていただきたいと思います。

～西さんからラジオをお聞きのみなさんにメッセージ～

今年も残り1ヶ月を切り、師走の忙しい時期を迎えております。年末は仕事に追われる上、道路がいつも以上に混雑し、あちこちで渋滞が発生します。そのようなときに、運転者として気をつければいけないのが急ぎの心理でございます。

急ぎの心理はイライラ運転やスピードの出し過ぎ、注意力の減退など、大変危険です。大切なことは早く着くことではなく、安全に無事に付くことですので、忙しい時期こそ余裕を持って安全運転に努めていただきたいと思います。

